

# 一般質問

# ここが聞きたい

町長等の執行者に対して、町政全般の各種事業の執行状況や政策方針などを聞くことが一般質問です。

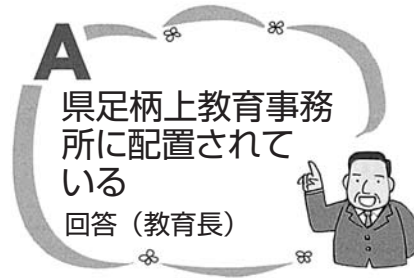
## スクール・ソーシャルワーカーの配置を



質問者  
利根川 茂 議員

文部科学省は、平成20年度において15億円の巨費を投じて、スクール・ソーシャルワーカーの配置事業を開始した。平成21年度からは1/3の補助事業となり、全国の65ヶ所の県・市教育委員会に1,040名のソーシャルワーカーが配置されている。

最近の動向では、児童虐待・ネグレクト・家庭の貧困化等、現場の教職員では、手に余るケースも見つけられるとお聞きしている。  
本町の教育委員会でも、国県の補助金を活用し、スクール・ソーシャルワーカーを配置されたいと思うが、教育長のお考えは。



町内の小・中学生をもつ家庭において、数は少ないが児童虐待やネグレクト(注)は発生している。  
ご指摘の町教育委員会にスクール・ソーシャルワーカー(社会福祉士)の配置については、県教育委員会の地区組織である足柄上教育事務所に、配置されている。  
管内の各市・町教育委員会の要請により、そのスクール・ソーシャルワ

ーカーが対応することになっていない。  
現在、松田町において派遣を要請するケースは

ないが、児童虐待等心配される件が発生した場合、児童相談所・保健所・町健康福祉課等と連携し、

## 住みよいきの施策はまちづくりの施策は



質問者  
寺嶋 正 議員

① 町の人口は、前回の国勢調査から1,000人以上減っている。労働力人口の減、税収の減少など考えられるが、どのような影響を及ぼすのか。

されるのか。  
④ 桜まつりや産業まつり等のイベントによる産業振興、商店街の活性化や弱い物弱者に対する宅配サービス補助事業などのお考えは。

② 人口の減少や少子高齢化が進む中で、子育て支援で小児医療費助成の中学校卒業までの拡大、通学定期の補助継続と拡大等のお考えは。

③ 少子化の動向を踏まえた幼稚園、寄地区の小・中学校のあり方、適正な規模・配置について、どのように検討



① 町税は、今後4年間

早期に対応する。  
注：ネグレクト  
保護者などが子どもや高齢者などに対して、必要な世話や配慮を怠ること。

で、22年度予算比3.9ポイントの減少となる。  
納税者の減少・所得の減少・固定資産税の減少など予想される。  
② 小児医療費助成は、小学生まで拡大して一年も経過していない。医療費の動向や利用状況の分析を行い、拡大の時期は検討する。通学定期補助は継続する。  
③ 寄地区の小・中学校のあり方は、地区の皆様のお考えを尊重しながら具体的に検討する。  
④ 桜まつりは、会場の賑わいと仲町通りや口マンズ通りなどへの回遊性を高め、商店街が活性化するような企画を練る。  
商工振興会で、宅配サービスを実施している商店のチラシ作成の一部を補助した。